



## 1 学年選択「知床概論 I」の授業

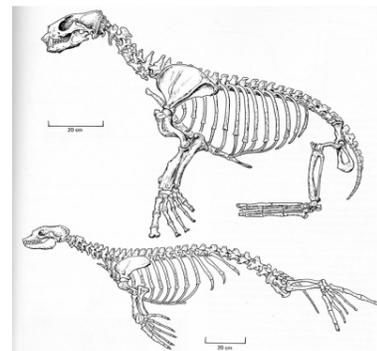
- 1 科目名 知床概論 I (1年必修・1単位)
- 2 講師 公営財団法人知床財団 保護管理部長 石名坂 豪 氏
- 3 担当 先田直裕 (教諭、教務部長、理科)、丸子恵未 (教諭、1年担任、家庭科)
- 4 日時 令和3年8月30日 (月) 4校時
- 5 内容 海獣類 (トドとアザラシ) について
  - ① 鰭脚類 (ききゃくゐい) の特徴等について  
アシカ、オットセイ、アザラシ、セイウチ類の形態・分布・生態等の違い
  - ② 知床半島周辺 (羅臼町沿岸) で見られる鰭脚類の生態的な特徴や漁業等との関係
  - ③ 調査方法の紹介及び羅臼沿岸で見られるトドの千島列島まで含めた行動範囲



### 《海生哺乳類》

海を生活の場とする哺乳類の総称。下記を含む。

- 鯨類 (クジラ・イルカ類)
  - 海牛類 (ジュゴン・マナティー類)
  - 鰭脚類 (アシカ・オットセイ・アザラシ・セイウチ類)
  - ラッコ
  - 他 (ミナミウミカワウソ) (ホッキョクグマ)
- 中でも、鰭脚類とラッコを「海獣類」と呼ぶことが多い。

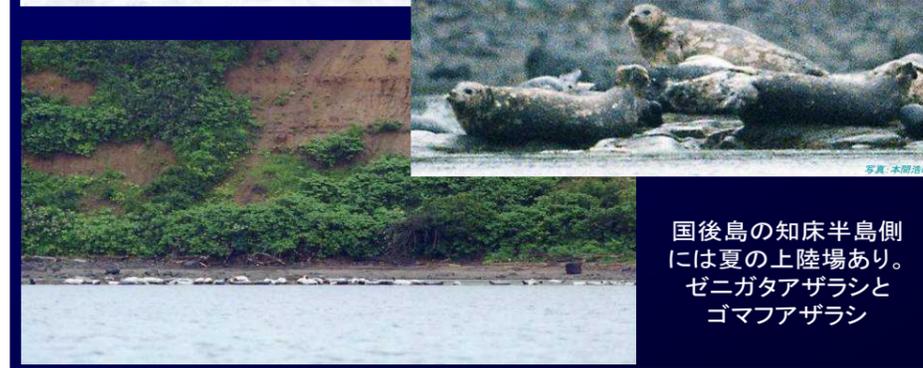


### 《鰭脚類 (ききゃくゐい) Pinnipeds》

- アシカ科・セイウチ科・アザラシ科の3科の総称。クマ科の祖先から分岐 (単系統)
- アシカ科 トド (*Eumetopias jubatus*)、オットセイ (*Callorhinus ursinus*)
  - セイウチ科 セイウチ (*Odobenus rosmarus*)
  - アザラシ科 ゴマフアザラシ (*Phoca largha*) など



国後島のカンバラ磯：羅臼漁港のちょうど反対側 27キロ先



国後島の知床半島側には夏の上陸場あり。ゼニガタアザラシとゴマフアザラシ

羅臼漁港から根室海峡を挟んだ丁度反対側には、ゴマフアザラシ (一部ゼニガタアザラシ含む) の夏期の上陸場 (カンバラ磯) があります。

このことから、知床～国後のアザラシの往来はありと考えられます。

シャチも択捉方面から知床を往来するようするに・・・北の海はつながっているのです。

人間以外の動物は活発に往来している。



### トドがこだわる 流氷期前の「付き場」

### 上陸岩礁ではなく「海面」

11～2月上旬は、  
羅臼漁港より南側の  
特定の「付き場」(休憩場)  
以外で  
トドを見る機会は  
少ない (少なかった)

例外はありますが、羅臼・標津にトドがいるのは11月～5月です。

流氷が来るまでの期間、少なくとも昼の間は、特定の場所に執着する傾向があります。

昔から羅臼のトド撃ちのハンターさんたちが「付き場」などと呼んでいた、このいくつかの場所を巡れば、毎日ほぼ100%、どこかでトドを見ることができます。

いろんなファクターが絡んできますが、来遊数のピークは年末年始頃になることが多いです。

例年2月上旬～中旬に流氷帯が羅臼沿岸へ押し寄せてくると、トドの群れは付き場から姿を消します。流氷帯の中や、沖の方など住所不定になり、トドがいる場所の予測は困難になります。

さらに、数がピーク時よりも少なくなるため、群れの大部分は、もっと南へ移動していると思われます。

流氷が去った後は、再び羅臼沿岸に戻ってきますが、12月や1月にたくさんいた場所でも、少数がパラパラ通過していく程度で、しばらく滞在する場所は、知床岬先端方面に変わります。

### 知床財団の石名坂さん

専門性の高い講義をありがとうございました。